

令和 7 年度 公益財団法人日本バレーボール協会

審判規則委員会 指針

令和 7 年度審判規則委員会は、以下の 5 項目を指針とし、各事業を推進する。

- 1 各ブロックと連携して、各種講習会や審判育成事業等を通して、次世代を担う若手レフェリーの育成に努める。また、子育て世代のレフェリーが活躍できる環境整備を引き続き推進する。また、男女共同参画をさらに進めるため、特に各カテゴリー・各都道府県にも女性審判員の活動の支援を推進する。
- 2 コンプライアンスに関する意識向上をさらに図るため、コンプライアンス教育を各種研修、講習会で計画的に実施する。レフェリーが主体的に取り組み、次世代に繋がるような指導の方法を確立する
- 3 選手・指導者を対象に、ルール及び取り扱いについての周知・徹底を図り、正しい理解とルール遵守を醸成する。
- 4 各種別において判定基準の統一を図り、安定した技術とメンタル面の強化に努める。また、試合中の選手やチームスタッフの言動に対しては、バレーボールとしてのインテグリティが保てるようにルールを的確に適用し、公平・公正な競技運営を行う。
- 5 レフェリーは、国内競技会及び国際競技会をスムーズに運営するために必要な事前講習会に参加してレフェリーとしての質の向上を図る。技術のレベルアップがバレーボールの競技力向上になることを忘れてはならない。

-
- 指導部： 1 A級審判員にカテゴリーを設けた育成体制を推進し、映像等も有効に活用し、より具体的な技術指導を行うことでレベルに応じた強化事業を推進し、スキルアップを目指す。
- 2 子育て世代のレフェリーについては、ライフスタイルに合わせ、安心して審判活動に取り組める環境を、JVA・ブロック等と連携しながら整備していく。
- 3 レフェリーの責務として、選手・指導者に対しルールはもとより、ルールの改・修正点や取り扱い等を正確に伝達しルールの理解を深めることを目指し、スムーズな大会運営だけでなく競技力の向上に資する。
- 4 各ブロックと連携をしながら、A級審判員だけでなく幅広く公認レフェリー、特に若手の育成事業を実施し、裾野の拡大を図る。
- 規則部： 見易く正確で分り易いルールブックの作成を目指し、4種別のケースブックの編集を行う。6人制とビーチバレーボールはFIVBからの最新情報を収集し、必要に応じて改正・修正を行う。また、一般の方を含め広くルールを伝達するためホームページでの情報提供について基礎的検討を行う。
- 登録部： JVAメンバー制度（MRS）に従って、A級審判員等のMRS登録の完了を目指す。また、早期登録手続きの完了と公認審判員の現状把握を行うために、各ブロック・都道府県との連携を図りながら、B・C級審判員資格保有者数の確認および登録者数の拡大を目指す。

以上